



## いばらきの景⑩ 国登録有形文化財（建造物）が残る まちなみ（大子町）

### 【旧外池呉服店店舗（明治29年建築）】

二階建ての土蔵造店舗で外壁を黒漆喰で塗込めています。二階正面には、4箇所を観音開きの窓を穿って、掛子塗の窓を吊って高い左官技術を見せています。現在は、地元の太子産漆を使用した漆器を展示・販売に活用されています。



### 【旧樋口病院入院棟（昭和30年建築）】

奥行き長い木造二階建てで、正面玄関脇には旧車庫を設けています。一階には診察室や手術室等を、二階には病室を並べています。正面妻側には柱形を見せて垂直性を強調し、十字の喚気口を意匠的に配しています。現在は、太子産漆の保全活動に取り組むNPO法人の拠点として活用されています。



### 【大子カフェ店舗兼主屋（大正5年建築）】

北半の東西棟切妻造二階建て部分を店舗、南半の南北棟寄棟造平屋建部分を住居としていました。店舗部東妻側の二階にはガラス戸を入れて高欄を付け、小屋梁を意匠的に見せた造りとなっています。現在は、カフェとして活用されています。



### 【大子カフェ土蔵（大正元年建築）】

二階建ての土蔵で、もとは隣家の金物店の土蔵であったため、西に開口部を設けて出入口としている。妻側の腰には海鼠壁を貼って装飾している。白漆喰を基調としつつ、窓や開口枠などに効果的に黒漆喰を用いています。



常陸大子駅前周辺には、深い歴史と文化、何代にも渡り守られてきた生業があります。まちなみは、どこか懐かしい昭和の風景を醸し出し、奥ゆかしい路地や奥久慈の美しい山並みと水の風景に囲まれています。大子町にお越しの際には、「大子らしさ」が香るまちなみを散策してみたいはいかがでしょうか。

「大子町建設課，写真提供：大子町教育委員会」

